



立野

練馬区立立野小学校

平成31年 3月号

<http://www.tateno-e.nerima-tky.ed.jp>

「学ぶ力（なぜ学ぶのか）」

校長 池上 育志

昔、授業中に学級の子供に聞かれた際の会話です。「何のために勉強するの」「何のためだと思う」「偉くなるため」「なるほど、でもね、偉いってなあに」「社長になること」「みんなが社長になるの」「...」
「あのね。勉強って、いろいろな教科があるよね。でも、国語だけでもこの先、現代国語、古文、漢文ってわかれて、算数は数学になりいろいろ分かれて、理科も物理、化学、生物、地学って、沢山に分かれていくの。図工も美術となり、いろいろ細かく詳しくなっていくんだよ。自分は何に詳しくなっていくかを選ばねばならない時が来るので、そのときのために、自分が何が得意で何を伸ばしていくのがよいのかを知るためにも今はいろいろな勉強をするんだよ。自分が何に向いているのかを知るためでもあるんだよ」

教育の世界ではこの20年来「生きる力」の育成がいわれており、変わりません。大変おおざっぱに言うと「知・徳・体」です。今までの学習指導要領では、「関心・意欲・態度」でしたが、新学習指導要領では「学びに向かう力、人間性」となっております。「学びに向かう力」とは何でしょうか。私は、人は興味・関心がわいた時に意欲となって学ぶと考えます。子供は興味・関心の塊です。幼子ほど、その探究心、意欲はとても強いものです。成長するにつれ、空想の世界のものには成れないことを知り、現実の世界に目を向け始め、可能なことを探し出します。大きな夢をもつことはとても大切なことです。「学ぶ力」とは、「学びに向かう力」がないと、ならないものと考えます。また、勉強も学問としては様々ありますが、今の時代、教科書にはない問題が沢山あります。その一つ一つの解決方法は手探りになります。だからこそ、自分で課題を解決する手段を選び、時には開発していかなければなりません。そのために、学ぶ力は必要であり、これからの時代を生きる力として身に付けていかねばならない力です。

一人一人がもっている力を存分に発揮して、活躍し、よりよい成長につなげていくために、今年度最後の今月も進めていきたいと考えます。

子供たちにとっての実り多き進級のために、今月もどうぞよろしく願いいたします。

専門家に学ぶ

1年 うがい・手洗い教室

株式会社、「明治」の方々をお招きし、正しいうがい・手洗いの仕方を教えていただきました。「咳をすると、かぜのウイルスはどれくらい飛んでいくの?」ということ、実際にものさしを使って測ってみたり、楽しいクイズを通じてなぜ手洗いうがいは必要なのかという勉強をしたりしました。

手洗いの仕方では、爪の先や手首などつい洗い忘れてしまいそうな場所までしっかりと気を付けて洗うことを教えていただき、その日の休み時間には早速綺麗に手を洗ってみようと実践する姿がありました。



2年 野菜作り・犬とふれあおう



生活科「野菜を育てよう」では、地域の農家の方に来ていただき、トマト、ピーマン、ナスの苗の植え方、育て方を教えていただきました。夏にはおいしい野菜が収穫でき、おいしくいただきました。

また、「犬とふれあおう」では、日本動物病院協会の獣医さん、10匹のワンちゃんと飼い主さんが来てくださり、犬との正しい接し方について学びました。犬の散歩やブラッシング、えさやりなどもさせていただき、かわいい犬との触れ合いに子供たちも大感激でした。

3月には国語「スーホの白い馬」に関連して、モンゴルのお話や馬頭琴の演奏会が予定されています。

3年 自転車安全教室

石神井警察署の方から交通ルールや、自転車の乗り方を教えていただきました。

校庭いっぱい白線で横断歩道や交差点のラインを引き、家から持ってきた自転車に乗りながら交通事故が起きやすいポイントや、ルールを学びました。

安全教室が終わり、テストを受けた後は、自転車の免許証をもらうことができ、交通ルールを守ろうという気持ちが高まるよい機会になりました。



4年 伝えよう つながろう

総合「伝えよう つながろう」では、関町特別養護老人ホームの方に来ていただき、車いす体験や高齢者疑似体験を行いました。実際に友達の乗る車いすを押しながら、段差の上り下りや障害物の避け方を考えたり、視界が狭くなるゴーグルや重り、杖を使って歩いたりして、高齢者の体の大変さを体験しました。高齢者がどのような不安を抱えているのかを考えたり、感じたりする学習を通し、社会福祉に対する考えを深めることができました。



5年 米作り体験

パルシステムの方々を招いて、5月にパケツ稲の「しろかき」「田植え」を行いました。そこで教えていただいたことを基にしてパケツ稲を育て、9月に収穫できました。11月にも来ていただき、今度は実った稲の「脱穀」「もみすり」体験を行いました。半年間をかけて、米作りの大変さを学ぶことができ、改めて米の大切さを実感できるよい機会になりました。



6年 租税教室

社会科の公民分野の学習の一環として、1月に練馬区で働く税理士の方々をお招きし、租税教室を行いました。税金の種類や使われ方、税金の様々な集め方について詳しく教えていただきました。今の生活が税金によって支えられていることに気付くことができました。また、授業の最後には「一億円」の大きさ、重さを体感させていただきました。



心を育てる ~立野の生活指導~

平成30年度も、いよいよラストスパートとなります。この1年間で、子供たちは身も心も成長が見られたことと思います。さて、この1年で強く印象に残っていることはどのようなことでしょうか。様々あると思いますが、その一つ一つには、必ず感情が付いてきます。学校は、様々な感情が生まれる場所です。それらは、どれも心の糧となりますが、スムーズに受け入れられるものと、その感情に打ち勝つことで心の糧に変えられるものがあると思います。心の糧にするには、その味わった瞬間を見逃さずにきちんと向き合うことです。身体は様々な栄養素によって成長していきますが、心は様々な感情が栄養となって成長していくものだと思います。来年度も、様々な感情を心の糧に変えていけるように支援していきます。

3月の行事予定

今月の避難訓練は、
予告なしで行います。

1	金	M 保護者会(1.2) 馬頭琴演奏(2) 社会科見学(3)
2	土	
3	日	
4	月	全校朝会 委員会
5	火	M 保護者会(3.4)
6	水	M 6年生を送る会 たてわり給食・遊び
7	木	特別時程 5時間授業 卒業を祝う会
8	金	読みママ
9	土	
10	日	
11	月	全校朝会 安全指導
12	火	M
13	水	M
14	木	児童集会
15	金	M
16	土	
17	日	
18	月	全校朝会
19	火	M
20	水	M 給食終 大掃除
21	木	春分の日
22	金	特別時程 修了式 2時間授業(1~4) 4時間授業(5.6) 卒業式予行(5.6)
23	土	
24	日	
25	月	卒業式

4月上旬・中旬の行事予定

5	金	新年度準備(新6年生)
6	土	
7	日	
8	月	始業式 入学式
9	火	M 給食始
10	水	M 4時間授業 委員会(5校時) 測定(2~6)
11	木	M 飼育当番引き継ぎ式(4.5) 保護者会(5.6午前授業)
12	金	M 尿(全) 保護者会(3.4午前授業)
13	土	
14	日	
15	月	全校朝会 保護者会(1.2午前授業) 地域家庭訪問
16	火	M 1年生給食始 測定(1) 5時間授業 地域家庭訪問
17	水	1年生を迎える会 聴力(5) 地域家庭訪問

保護者会の学年は、変更になる可能性があります。

【3月22日(金) 修了式】

1~4年生は2時間授業、10時30分下校予定です。
5・6年生は、3・4校時に体育館で卒業式の予行練習を行います。4校時終了後、12時10分下校予定です。給食はありません。

【3月25日(月) 卒業式】

1~4年生は、お休みです。
5年生は通常登校で、卒業式に参加します。
6年生は8時45分までに登校します。
卒業式後に門送りをし、12時00分下校予定です。

【4月5日(金) 新年度準備】

新6年生は9時00分登校、11時00分下校予定です。
新年度の教室準備や入学式準備などを行います。
授業日ではありませんが、ご協力をお願い致します。
他の学年はお休みです。

【4月8日(月) 始業式・入学式】

通常登校です。8時30分から始業式を行います。
新3年~新5年生は9時20分下校予定です。
新2年・新6年生は、入学式に参加します。
新2年生は、11時00分下校予定です。
新6年生は、12時00分下校予定です。
詳細は、各学年の学年便りをご覧ください。

【あゆみについて】

3月22日は修了式です。この日に「あゆみ・修了証」をファイル 黄緑色 に入れてお渡しします。お子さんと3学期の学校生活について振り返りをお願いします。「あゆみ・修了証」はご家庭にあるファイル(透明)に入れ替えて大切に保管してください。

なお、ファイル 黄緑色 は、新年度になってから集めますので、それまでご家庭で保管していただきますようお願いいたします。 教務担当 山岸 由佳

教室の窓から



1年2組
担任 河又 学

入学したばかりの4月は、緊張していて物静かな様子でした。しかし、最近では授業中の発言も活発になり、休み時間のお喋りもとても多くなってきました。

また、「チャイム着席」「チャイム挨拶」を意識し、時間通りに授業を始めたり終えたりすることができています。「当たり前のことを当たり前に行う」ことの尊さを伝えると共に、これからも継続していけるよう、今年度最後の1ヶ月を過ごしていきたいと思えます。